

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカの発生状況及び防除対策（技術情報第7号）について（送付）
このことについて、早植え・普通期水稻におけるトビイロウンカの発生状況及び防除対策を下記のとおりまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

トビイロウンカの第一世代は、平年より広範に発生している。

今後は、作型と地域によって防除効果が高い時期が異なると予想される。発生状況に注意して若齢幼虫期の防除に努め、要防除水準を超えたほ場では直ちに防除を行う。

1 現地の発生状況

今年の主飛来は7月7日、次いで7月17日に比較的大きな飛来波があったことから、両飛来波の第一世代が定着していると想定された8月4日～5日に払い落とし調査を実施した。

（1）早植え（5月～6月上旬移植：16ほ場）

成・幼虫合計の平均寄生密度は0.9頭／10株（平年6.3頭／10株）と平年より低く、発生ほ場率は62.5%（平年38.1%）と平年より高かった。総じて若齢～中齢幼虫の割合が高かったが、25.0%のほ場で増殖能力が高い短翅型雌成虫の発生が確認された（表1）。

（2）普通期（6月中旬～下旬移植：18ほ場）

成・幼虫合計の平均寄生密度は0.1頭／10株（平年0.1頭／10株）と平年並であり、そのほとんどが7月17日の飛来に由来すると考えられる若齢～中齢幼虫であった。発生ほ場率は22.2%（平年11.7%）と平年より高かった（表2）。

2 無防除田の発生状況

生産環境研究所内（合志市）に設置した早植え（5月15日移植）の無防除田において、8月6日時点で若齢幼虫から成虫まで幅広く発生していた。普通期（6月18日移植）の無防除区では、8月上旬まで発生が見られず、8月13日に初飛来（7月3日）の第二世代と考えられる若齢幼虫は確認されたが、主飛来（7月7日）以降の飛来に由来する第一世代の発生は確認できていない（表3、発生データは省略）。

3 防除対策

上記の発生状況から、トビイロウンカが県内に広く発生しており、移植時期の違いによって現在の発生源となっている主な飛来時期が異なると考えられるため、以下の項目に留意し、薬剤散布の効果が高い適期防除に努める。

- (1) 最も薬剤の効果が高い第二世代の若齢幼虫期を対象にした基幹防除を基本とする(表3)。病虫害防除所のホームページ (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>) に掲載している最新の「水稻海外飛来性害虫情報」を参考にほ場を観察し、早植えでは主飛来を、普通期では7月17日の飛来波から想定される期間を目安に実施する。
- (2) 気象予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されており、本種の増殖に好適な条件が継続することが見込まれる。ほ場における発生が要防除水準(8月中～下旬:10頭/10株、収穫30日前:30頭/10株)を超えた場合は、直ちに臨機防除を行う。
- (3) トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているため、液剤や粉剤で防除する場合は薬剤が株元に到達するように十分量を丁寧に散布する。
- (4) 他の病虫害を対象とした防除を含め、農薬の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに周辺作物や有用昆虫、魚介類等の環境に影響がないよう飛散(ドリフト)防止に努める。付近にミツバチの巣箱が設置してあるほ場では、事前にその管理者に連絡する等、農薬による危害防止に努める。

表1 早植え水稻におけるトビイロウンカの寄生密度(令和8年)

調査地点	幼虫(頭/10株)			成虫(頭/10株)			
	若齢	中齢	老齢	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀
山鹿市①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山鹿市②	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山鹿市③	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山鹿市④	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
阿蘇市①	0.7	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3
阿蘇市②	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
阿蘇市③	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
阿蘇市④	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南小国町①	0.7	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
南小国町②	0.7	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
南阿蘇村①	0.7	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
南阿蘇村②	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山都町①	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3
山都町②	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
甲佐町①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
甲佐町②	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計の平均	0.9頭/10株(平年6.3頭/10株、前年0.0頭/10株)						
発生ほ場率	62.5%(平年38.1%、前年0.0%)						

※ 調査日:令和8年8月4日～5日、方法:30株の払い落とし調査

※ 調査地点は県南部を除く(令和8年熊本地震に伴う欠測)

※ 平年は過去10年(平成28年～令和7年)の平均値

表2 普通期水稻におけるトビイロウンカの寄生密度（令和8年）

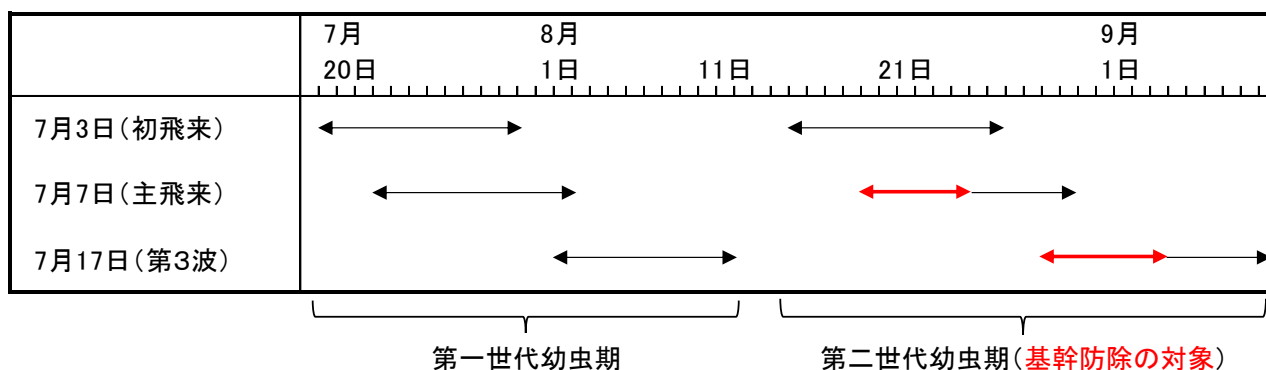
調査地点	幼虫(頭／10株)			成虫(頭／10株)			
	若齢	中齢	老齢	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀
熊本市①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市②	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市③	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市④	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市⑤	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市⑥	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉名市①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉名市②	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉名市③	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉名市④	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
山鹿市①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山鹿市②	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
菊池市①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
菊池市②	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大津町①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大津町②	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
益城町①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
益城町②	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計の平均	0.1頭／10株(平年0.1頭／10株、前年0.0頭／10株)						
発生ほ場率	22.2%(平年11.7%、前年0.0%)						

※ 調査日：令和8年8月4日～5日、方法：30株の払い落とし調査

※ 調査地点は県南部を除く(令和8年熊本地震に伴う欠測)

※ 平年は過去10年(平成28年～令和7年)の平均値

表3 各飛来日から予測されるトビイロウンカの幼虫期（令和8年）



※ アメダス地点(菊池市)の気象データに基づき予測した。

熊本県病虫害防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当：清永 TEL 096-248-6490